

# 紀の川市ゆかりの「偉人」

## さいぎょうほうし 西行法師

平安時代から鎌倉時代を代表する歌人のひとり。1118年佐藤康清の子として生まれた佐藤義清がのちの西行法師。幼少のころより武芸だけでなく、歌謡などに精通し、鳥羽院に仕えていたが23歳にして出家を決意しました。以来、辛く苦しい修行をつみながら、歌を詠んで旅を続け、高野山に草庵を構えます。このほど、西行が紀の川市竹房の出身であるとの説もあり、これを顕彰し、竹房橋近くに高さ2mのブロンズ像が建立されました。



### ♡ 「西行」 新潮社

ねがわくは花のしたにて春死なむそのきさらぎの望月の頃  
1190年2月73歳で寂すまで平安末期の動乱の世を生きた西行。  
その漂白の足跡を実地にたどりつつ、歌の読み込みに重点を  
置きゆかりの風物風土の中で味わうことによって自ずと浮か  
び上がってくる。



### ♡ 「西行 花と旅の生涯」 新人物往来社

歌と仏の道に一人生きる一方で崇徳上皇や平清盛、源頼朝、藤  
原秀衡ら時の権力者とも交渉を持ち続けた。激動する時代と  
深く関わりながら花にあこがれ歌枕を訪ねて旅立った。  
その矛盾に満ちた生きざまこそ西行の魅力。



### ♡ 「西行 捨てて生きる」 平凡社

華やかな前途を捨て出家し、古代貴族社会が崩壊していく乱  
世を乗り越え、数奇の道に生きた歌人の自由で孤独な生涯と  
その芸術。謎多き天才歌人の生涯に新たな光を当てる一冊です。

はなおかせいしゅう

## 華岡青洲

華岡青洲は、麻酔薬「<sup>つうせんさん</sup>通仙散」を発明し、世界で初めての全身麻酔での乳がん摘出手術に成功した外科医です。青洲は、1760年10月23日、華岡直道と於継の間に生まれました。青洲の父も医師で、青洲は幼い頃から病やけがに苦しむ人々を見て育ち、自分も医師になって人の命を救いたいという思いをいだきながら成長しました。



### 「華岡青洲の妻」 新潮社

世界最初の麻酔による外科手術、人体実験に進んで身をささげる嫁と姑のすさまじい愛の葛藤……江戸時代の世界的外科医の生涯を描いた一冊です。

## 紀の川市が紹介されている「本」



### 「和歌山県謎解き散歩」

新人物往来社

本州最大の半島である紀伊半島の西に位置する和歌山県は、海と山に恵まれた豊かな土地。「木の国」の温暖な気候を利用して、みかんやはっさく、柿、桃、梅、などの果樹栽培がさかんに行われています。和歌山のさらなる魅力を紹介しています。

### 「紀ノ川散歩27コース」 山川出版社

木(紀)の国北部をゆったりと流れ水の恵みを与え続けてきた紀ノ川流域に残る史跡をたずねて歩いてみよう。



### 「和歌山県の歴史」

山川出版社

現代に立って過去の時代をふりかえり21世紀への指針をさぐる。ロマンに満ちた郷土の歴史。

